

CLUB DATA

アスクラロ沼津

J3参加表明

◆今季成績 4位(東海リーグ1部)勝点25
8勝1分5敗 20得点・21失点(リーグ終了時)

- ◆発足: 1977年 ◆所在地: 静岡県沼津市西龍堂711-1
- ◆公式サイト: http://www.azul-claro.jp/
- ◆メインスタジアム: 愛鷹広域公園多目的競技場 沼津市足高202
- ◆練習場: アスクラロ沼津セレスト 沼津市西龍堂711-1
- ◆主な獲得タイトル: 静岡県リーグ2部(2005)

過去の成績

年	カテゴリー	順位	試合	勝	分	敗	得点	失点
11	静岡県リーグ1部	2	11	9	0	2	50	23
12	東海リーグ2部	2	14	8	2	4	22	15
13	東海リーグ1部	4	14	8	1	5	20	21

基本フォーメーション



今季は東海1部で4位。地域決勝にも進出できずJFLへの道は一度絶たれたがJ3ライセンスを取得できれば……

終わり、JFL入りを懸けた全国地域リーグ決勝大会への出場も叶わなかった。そのため山本も、準加盟が承認されるまでは来年のスタート時からJ3に参入できるとはほとんど考えておらず、現実的に「3年計画ぐらい」をイメージしていた。

「先を急ぎすぎて、今までやってきた基盤を崩すようなことは絶対にしたくない。トップチームがプロになつて会社が赤字になるのは本意ではないので、自分たちのスタイルを崩すことなく、着実に前進していければ良いと思っています」(山本社長)

しかし、準加盟の承認が下りた時点で状況が少し変化。当初JFLからJ3入りを目指していた12クラブのうち、ふたつ(栃木ウーヴァFCとMIOびわこ滋賀)が準加盟を見送られ、アスクラロ沼津にも初年度からJ3に上られる可能性が出てきたからだ。

J3ライセンスに関しては、10月のJリーグ理事会では承認が見送られ、継続審議中。その理由は「来季の収入見通しの精査が必要」との判

断からで、11月19日の理事会で承認されるように、現在は全社を挙げてスポンサー獲得に奔走している。

また、11月中旬にJ3ライセンスを獲得したい理由はもうひとつある。それは、クラブがJFLに上られる可能性が高くなるからだ。JFLは現在18チームでリーグ戦を行なっているが、来年はそこから10チームほどが抜ける予定。そのため、新たに6チームを昇格させて、計14チームでリーグ戦を開催する見込みになっている。例年どおり下から勝ち上がってくる3チームを除くと、残りの昇格枠は3。そこにはJ3ライセンスを持ったチームが優先的に入れる可能性が高い。

したがって、仮にJ3入りは果たせなかったとしても、J3ライセンスは今年中に手にしたい。それが実現すれば、12月7日、8日に行なわれる来年度向けのセレクションにも能力の高い選手が数多く参加するだろう。チーム強化の面でも、J3ライセンスの獲得は大きな意味を持っているのだ。

近年クラブを取り巻く状況が目まぐるしく変化するなか、理想を目指して前に突き進んでいく山本のバイタリテイは一切変わらない。兄の昌邦もサッカーに対する「熱さ」で有名だが、弟もそれに優るとも劣らない熱血漢だ。大学時代の同級生でもある指揮官の小花や、長年補佐を務めてきた細谷直右(トップチームの主務で広報活動も担当)らも、その「熱」に引く張られて損得抜きでサポートを続けている。社内の事務仕事も、現時点ではスクールのコーチングスタッフで現場と兼任で行なっている。

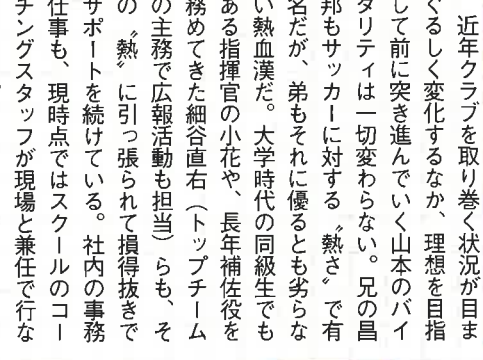
また、取材中に出会った河合良昌という人物は地元有力企業の元営業マンで、趣味でサッカーの指導もしていたが、定年退職後にクラブの運営を「ぜひ手伝わせてほしい」と申し出たサポート部隊である。前職の経験と豊富な人脈を活かしてスポンサー獲得に大活躍しているが、彼自

身も自分がチームの役に立てることがうれしくて仕方ない様子だった。ヨーロッパで長い歴史を持つ3部や4部のクラブは、若い頃からのサポーターである老人たちのボランティアによって運営が支えられているという。河合氏以外にも同様の協力者が増えており、自然発生的にそうした流れができていっているのも、このクラブらしいところと言える。

上のカテゴリーを目指すなか、現時点で一番大きな不安要素は資金面だ。1社で全面的に支えてくれるような大口スポンサーの獲得は、今のところ難しい。そこでクラブが力を入れているのが「ソシオ制度」である。ソシオ会員の年会費は3600円で、会員はクラブ内だけでなく地元店舗でも割引特典などが数多く受けられるなど、上手く使えば月3000円の元を十分に取れるシステムが整えられている。最終的にはソシオ会員を3万人集めることを目指し

ており、そうなればクラブにとって年間約1億円の安定収入が入ることになる。

スポンサーの獲得以上にソシオ制度に力を入れる



9月には準加盟申請の承認が下りた。J3参入の相席は11月の理事会の決定に左右される

99年から3シーズン神戸に在籍した川村淳一。チーム唯一の元Jリーガーは、選手兼コーチとして活躍中だ



自前のグラウンドにはナイター設備も完備。練習は週に3日、21時から行なわれている

次回(11月12日発売号掲載予定)は番外編として大河正明Jリーグ理事・管理総括本部長のインタビューを掲載